

第八十四回 帝國議會院 訴訟費用等臨時措置法案外二件委員會議錄(速記)第一回

衆議院

昭和十九年一月二十九日(土曜日)午後一時
九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 谷原 公君

理事長 井源君 理事官崎 金子 定一君
理事 大川 光三君 理事宮崎 木崎 爲之君
木下 信君 高見 佐久間 渡君 會木 重貴君
高見 之通君 中井 一夫君 仲井 間宗 一君 南雲 正朝君
濱野 徹太郎君 山田 竹治君 安田 柔次君
出席國務大臣左ノ如シ 司法大臣 岩村 通世君

出席政府委員左ノ如シ 司法次官 大森 洪太君
司法省民事局長 齋藤 直一君 藤佐君 亮君
司法省刑事局長 池田 克君
司法省行政局長 正木
司法省調查官 佐藤
司法書記官 石田

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
訴訟費用等臨時措置法案(政府提出、貴族院送付)

會社等臨時措置法案(政府提出、貴族院送付)
經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案(政

府提出、貴族院送付)

經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案(政

府提出、貴族院送付)

○谷原委員長 是ヨリ訴訟費用等臨時措置

法案外二件委員會ヲ開會致シマス、訴訟費

用等臨時措置法案、會社等臨時措置法案、

經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案、此ノ

三案ハ主管官廳が同一デアリマスルカラ一

括議題トスルコトニ御異議ハアリマセヌカ

レデハ一括付議致シマス、之ニ對シ政府ノ

説明ヲ聽クコトニ致シマス

○谷原委員長 御異議ナシト認メマス、ソ

レデハ一括付議致シマス、之ニ對シ政府ノ

説明ヲ聽クコトニ致シマス

○岩村國務大臣 只今議題トナリマシタ訴

訟費用等臨時措置法案外二法律案ニ付テ提

案ノ理由ヲ御説明申上げマス、先づ第一ニ

訴訟費用等臨時措置法案デアリマスガ、本

會議ニ於テ既ニ申述ベマシタ如ク、現在行

ハレテ居リマスル民事及ビ刑事ノ訴訟費用、

執達吏ノ手數料茲ニ執達吏ニ對スル補助金

等ノ額ハ、何レモ二十數年前ニ改メラレタ

ル儘、一回ノ改正モナク今日ニ及シテ居ル

ノデアリマシテ、其ノ間著シク經濟情勢ヲ

異ニ致シテ居リマスル爲ニ、甚ダ實情ニ副

ハヌモノガ多ク、之ヲ現在ノ儘ニ放置致シ
マスル時ハ、訴訟關係人及ビ執達吏ニ對シ、
多大ノ不利不便ヲ強要スル結果トナリ、延
イテハ決戰體制下民刑訟訴制度竝ニ執達吏
制度ノ運用上重大ナル支障ヲ來シ、隨テ戰
力增强ノ上ニモ好マシカラザル影響ヲ與フ
ルコトナキヲ保シ難イノデアリマス、仍テ
今回是等訴訟費用手數料等ニ關シ戰時下必
要ナル臨時ノ特例ヲ設ケマシテ、其ノ調整
ヲ圖ラントスルモノデアリマス
此ノ特例ノ内容ニ付テ一言申上ゲタイト存
ズルノデアリマスガ、其ノ要點ハ次ノ二點ニ存ス
ルノデアリマス、即チ第一ハ訴訟費用、手數料
等ノ増額デアリマス、申スマデモナク裁判
上ノ證人鑑定人ハ、國民ノ義務トシテ裁判
所ニ出頭シ、裁判上重要ナル事項ニ付テ證
言又ハ鑑定ヲナスモノデアリ、執達吏ハ國
家ヨリ官吏ニ準ズルモノトシテノ待遇ヲ與
ヘラレテ、裁判ノ執行ヲ擔當スル機關デア
リマスガ、是等ニ對スル日當、旅費、宿泊料
等ハ現在極メテ少額デアリマシテ、到底其
ノ實費ヲスラ償フニ足リナイ狀態デアリマ
スルノデ、之ヲ相當額増加致シマスルト共
ニ、訟訴書類ノ書記料、執達吏ノ手數料等
ヲモ併セテ増額セントスルモノデアリマス
第二ハ執達吏ニ對スル補助金ノ増額デア

ケルコトナク、依頼人カラ手數料ヲ徵收ス
ル手數料ガ一定ノ額ニ達シナイトニノミ、
而シテ其ノ一定ノ額ハ大正十年以來一年六
百圓ト定メラレテ居ルノデアリマスガ、最
近執達吏役場ノ費用等、著シク騰貴致シテ
居リマスル爲ニ、此ノ額ガ低額ニ失スルコ
トニナリマシタカラ、茲ニ其ノ額ヲ相當増
加スルコトガ出來ルヤウニ致シタイト存ズ
ルノデアリマス
次ニ會社等臨時措置法案ニ付キ御説明致
シマス、政府ニ於キマシテハ大東亞戰爭ノ
完勝ヲ期シ、國內態勢ヲ強化シ、國力ヲ舉
げテ戰力ノ增强ニ集中スル爲メ、夙ニ行政
事務ノ簡素強化ヲ圖リ、著々其ノ實績ヲ學
びテ居ルノデアリマスガ、民間ニ於ケル會
社其ノ他ノ法人企業ニ付キマシテモ、能フ
限り手續等ヲ簡易ニシ、以テ勞力、費用、
資材等ノ節約ヲ期シ、其ノ餘力ハ全部之ヲ
戰力增强ニ振向ケル必要ノアリマスコトハ
申スマデモアリマセヌ、是ガ爲メ司法省ニ
於キマシテハ、商法其ノ他ノ法人ニ關スル
諸法令ヲ研究調査致シマシテ、會社、株主
債權者等ノ利害得失ヲ十分者慮致シマシテ、
戰時下特ニ簡素化スルヲ相當ト認メマシタ
事項ニ付キ、本法ニ於テ大東亞戰爭中ノ特

付託議案
訴訟費用等臨時措置法案(政府提出、貴族院送付)(第二二號)
會社等臨時措置法案(政府提出、貴族院送付)(第二三號)
族院送付(第一九號)
朝鮮ニ於ケル裁判手續簡素化ノ戰時爲
ノ國防保安法及治安維持法ノ戰時爲
經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律
案(政府提出、貴族院送付)(第二四號)
特例ノ關手續簡素化ノ戰時爲
族院送付(第一九號)
朝鮮ニ於ケル裁判手續簡素化ノ戰時爲
ノ國防保安法及治安維持法ノ戰時爲
經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律
案(政府提出、貴族院送付)(第二四號)
會社等臨時措置法案(政府提出、貴族院送付)(第二三號)
族院送付(第一九號)
朝鮮ニ於ケル裁判手續簡素化ノ戰時爲
ノ國防保安法及治安維持法ノ戰時爲
經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律
案(政府提出、貴族院送付)(第二四號)
會社等臨時措置法案(政府提出、貴族院送付)(第二二號)

第十一條ガ之ニ該當スルノデアリマス
第四ハ以上ノ措置ニ伴ヒ、關係法律ノ條文ノ整理ヲ爲サントスルモノデアリマシテ
第十二條乃至第二十八條ガ之ニ該當スルノデアリマス

以上三法案ノ内容ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタガ、何卒慎重御審議ノ上レモ御可決アランコトヲ切望致シマス、尙ホ詳細ノ點ニ付キマシテハ御質問ニ應ジマシテ御答ヘラ申上ゲタイト存ジマス

○沖委員　一寸議事進行ニ付テ、政府ノ方ニ御願ヒ申上ゲタイノデスガ、今ノ御説明ヲ拜聽致シマスト澤山勅令ガ出ルヤウデアリマシテ、ソレヲ一々御説明願ハネバナラヌコトニナル譯デアリマスガ、何カ凡ソ勅令ノ内容ミタイナモノヲ文書ニシタモノデモアリマスレバ、ソレヲ御配付ガ御願ヒ出來マスナラバ、非常ニ議事ノ進行上便宜デアリマスカラ、御願ヒ申上ゲテ置キマス○大森政府委員　勅令案ノ草稿ト申シマスルカ内容ニ付キマシテ、マダ具體的ニ決マシタ、尙ホソレニ基イテ機會ガアレバ口ツテ居リマセヌケレドモ、其ノ筋書トモ言フベキ程度ノモノハ御配付ヲ申上ゲテ置キマシタ、是カラ質疑ヲ進メルコトニ致シマス、通告順ニ依ツテ順次許シマス

○大川委員 私ハ先づ經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案ニ付テ御伺ヒヲ致シマス夫ル第八十一回帝國議會ニ於キマシテ日本證券取引所法ノ祕密漏泄ニ關スル處罰規定ガ、他ノ同種ノ刑罰ト比較對照シテ均衡ヲ得テ居ナイト云フコトガ論議ノ中心ニ相成リマ

シタ、然ルニ今回其ノ議會側ノ希望ニ應ジ
刑罰ノ統一トヲ期シ、本案ヲ御提案ニ相成
リマシタ司法當局ノ御英斷ト御熱意ニ對シ
マシテ、私ハ深甚ニ敬意ヲ表スル者デゴザ
イマス、殊ニ今回ノ政府御提案ノ法律案ハ、
總ニ戰爭完遂ニ直接關係ヲ有スルモノバカ
リデゴザイマシテ、本案モ亦戰爭遂行上至
大ノ關係ヲ有スルモノナルコトヲ信ジテ疑
ヒマセヌ、併シ如何ニ法規ノ改廢整備ヲ見
マシテモ、法ノ運用宜シキヲ得ナケレバ所
期ノ目的ヲ達成スルコトガ出來マセヌ、司
法大臣ハ過般ノ豫算總會ノ席上、司法官ハ
司法官ニ課セラレタル職責ヲ全ウシテ國家
ニ御奉公ヲ勵ミ以テ戰爭完遂ニ協力致シテ
居ルト、斯様ニ申サレマシタガ、洵ニ至言
法大臣ハ過般ノ豫算總會ノ席上、司法官ハ
デゴザイマシテ、私ノ今モ尙ホ共感措ク能
ハザル所デゴザイマス、併シ謂ハル、所ノ
裁判、檢察ノ實際ニ於テ名實之ニ伴ハズ、
國民ノ一部ニ之ヲ信賴シ悅服シ得ザル者ガ
アリト致シマスレバ、獨リ我ガ司法ノ威信
ノ爲ノミナラズ、戰爭完遂上沟ニ寒心ニ堪
ヘナイ所ト存ズルノデアリマス、私ハ此ノ見
地ニ立チマシテ、以下司法省全體ニ關スル間
題ニ付テ御質問ヲ致シタインデゴザイマス
第一ニ伺ヒタイト存ジマスルコトハ、今
回ノ經濟關係罰則ノ刑罰ノ加重ニ伴ヒマシ
テ、各種經濟團體ノ役職員ノ瀆職罪ノ檢舉
ニ付テ如何ナル態度ヲ以テ臨マル、御方針
官ヲ以テシテハ手ノ届カヌヤウナ高イ所ニ
陣取ツテ、而モ國民疑惑ノ焦點トナツテ居
リマスル所謂大物役員ノ檢舉ニ如何ナル對
策ヲ有セラル、デアリマセウカ、又此ノ際

○岩村國務大臣 御答へヲ申上ゲマス、法律ヲ制定致シマシテモ、是ガ運用ニ付テナラバ十分ニ注意ヲ致シテ、此ノ運用ニハ萬全ノ注意ヲ拂アリマシテ、得ナイト云フコトニナルノデアリマシテ、此ノ點ハ御協賛ヲ願ツタナラバ十分ニ注意積リデゴザイマス、濱職事件ノ検舉ト云フモノハ相當難カシイモノデアルガドウスルカト云フ御話デアリマスガ、成程御話ノ通り濱職事件ノ検舉ト云フモノハ相當困難ニアリマス、贈賄者モ收賄者モ共ニ之ヲ隠サントスル、サウシテ證據ト云フモノハ隠ラヌノデアリマシテ非常ニ困難ナモノデアリマス、併シナガラヤハリ天網恢々ト云ヒマスカ、犯罪ヲ致シマスルト其ノ各般ニ關係ガ自然現ヘテ來ルモノデゴザイマス、無論捜査ニハ非常ニ困難トハ思ヒマスルガ、今日ヤハリ此セラレル、段々注意ヲ致シマスルト、他ノ濱職罪等ノ檢舉ト云フモノハ行ハレテアリル、ヤハリ注意ヲスルトシナイトハ非常ニ違フト思フ、一ツノ事件ヲ捜査致シマシテソレダケデ其ノ事件ヲ打切ルト云フコトアレバ進展シナインデアリマスガ、ヤハリ贈賄、收賄ノ關係ト云フモノハ段々掘下ばテ行キマスト、其ノ關係バカリデナク、例ヘバ甲ガ乙ニ贈賄シテ居ルト云フ場合モノハ進展シテ參ルノデアリマス、要スルモノハ捜査ニ對スル注意ヲ十分ニ用ヒルカ、因

ヒナイカト云フコトニ付テ犯罪ヲ檢舉スルカシ
ノデアリマス、經濟關係ノ罰則ノ制定ヲ仰
グ以上ハ、検査ニ付テハ一層注意ヲ致シマ
シテ、先程御話ノ大物デアルカラ檢舉ハ出
來ヌトカ、小サイモノヲ檢舉スルト云フコ
トデハナク、寧ロ害惡ヲ流スノハ所謂大物
ト申シマスカ、サウ云フ大キナ犯罪ト云フ
モノハ社會ニ大キナ害毒ヲ流スノデアリマ
スカラ、サウ云フ點ヲ特ニ注意ヲ致シテ檢
舉致サナケレバナラスト思ヒマス、檢事局
ト致シマシテハ、社會的ニ特ニ地位ガアル
カラ其ノ檢舉ヲ躊躇スルト云フコトハ絕對
ニアリマセヌ、私ハ斯様ナ考へハ少シモ持
ツテ居リマセヌ、嚴正公平ニ検査權ヲ行フ
ト云フコトニ付テハ十分御信賴ヲ願ヒタイ
ト存ジマス

○大川委員 次ニ第二點ト致シマシテ、略式手續ノ範圍擴張ニ伴ヒ區裁判所ノ判事ヲ如何ニ配置替ヘセラレマシタカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、去ル第八十三回帝國議會ニ於キマシテ、戰時刑事特別法中ノ改正ヲ見マシテ、略式手續ノ範圍ガ擴張セラレ、所謂事案ノ内容單純ニシテ犯罪ノ成立明白ナル場合ニ於テハ、略式命令ヲ以テ一年以下乃至三年以下ノ體刑ヲ科スルコトガ出來ルヤウニ相成リマシタガ、是ハ我ガ裁判史上非常ナル變革デゴザイマシテ、略式手續ヲ發スル區裁判所ノ權限擴張ト云フヨリハ寧ロ判事ノ責任加重ナリト考ヘルノデアリマス、ソレガ爲メ略式命令ヲ發スル判事ニハ特ニ練達堪能ノ人士ヲ以テ之ニ充テル考ヘナリト當時當局ハ御言明ニ相成リマシタガ、果シテ其ノ後如何ナル措置ヲセラレタノデゴザイマセウカ、承リタイノデアリマス〇大森政府委員 只今御示シニナリマシタ通り、先般ノ改正ニ依リマシテ略式手續ガ相當廣範圍ニ擴充セラレマシタ、之ニ對シマシテ最モ必要トルノハ區裁判所判事ノ人事デアルコト全ク御説ノ通りデアリマス、左様ナ關係デアリマシテ、私共主力ヲ此ノ方面ニ傾注致シテ居ルノデアリマス、此ノ前既ニ數次ニ亘リマシテ戰時刑事特別法其ノ他戰時ノ手續ガ制定ニ相成リマシテ、ヤハリ同様ノ趣旨ノ下ニ區裁判所ノ人事ニ付キマシテ相當注意ヲ致シテ參リマシタ、即チ昨年ノ九月末日ニ於キマシテ、全國區裁判所ノ判事ハ總計五百十六人デアリマシテ、リマスルカラ、十年以上ノ勤績者デアリマ

ス、即チ六級以上、詰リ十年以上ノ勤続者
ガ八六%ヲ占メテ居リマシテ、又四級以上
ト申シマスルト十五年以上ノ勤続者ニ當リ
マスルガ、是ガ五〇%ヲ占メテ居リマス、
即チ年齢カラ申シマシテモ經驗カラ申シマ
シテモ相當區裁判所判事ニハ重キヲ置イテ
居ルノデアリマス、然ルニ其ノ後更ニ先般
ノ臨時議會デ只今御示シノ略式手續ノ擴充
ト云フコトニナリマシタカラ、更ニ此ノ人
事ニ重キヲ置キマシテ、丁度昭和十七年カ
ラ逆算致シマスルト、昭和十七年ノ三月下旬
旬ニ遡ツテ考ヘテ見マシテ、ソレカラ昨年
ノ十二月末日マデノ間之ヲ合算致シマスル
ト、控訴院判事カラ區裁判所判事ニ轉補致
シマシタ者ガ二十名、司法裁判所判事ヨリ
區裁判所判事ニ轉補致シマシタ者ガ百九
名、司法裁判所部長ヲシテ區裁判所判事ヲ
兼ネシメタ者ガ三十五名ニ達シテ居ルノデ
アリマス、併シ勿論之ヲ以テ完璧ナリトハ考
於キマシテハ、區裁判所判事ノ人事ト云フ
コトニ、相當主力ヲ傾注致シテ居ル積リデ
アリマス、併シ勿論之ヲ以テ完璧ナリトハ考
ヘテ居ナイノデアリマス、只今ノ御希望モ
アリマシテ、我々其ノ御希望ヲ十分ニ斟酌
致シマシテ、更ニ此ノ上トモニ好結果ヲ舉
ゲタイト存ジテ居リマス、尙ホ略式手續自
體ニ付キマシテハ、先般幸ニ司法省内ニ勅
任調査官ヲ任設セラレマシタカラ、早速數
府縣ニ付キマシテ實際ノ調査ヲ致サセマシ
テ、其ノ範圍内ニ於キマシテ、先ヅ成績良
好デアラウト思ツテ居リマスルケレドモ、
是亦今日ノ程度ヲ以テ決シテ樂觀ハシナイ
ノデアリマシテ、十分ニ努力ヲ致シタイト
存ジテ居リマス、右一應御報告ヲ申上げテ
置キマス

○大川委員 第三點ト致シマシテ、略式命令ニ對シテ正式裁判ノ請求アリタル場合ニハ、如何ナル判事ガ其ノ裁判ノ衝ニ當ラレルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、當局ノ御説明ニ依リマスルト、略式命令係判事ニハ、練達堪能ノ人士ヲ以テ之ニ當テルトノコトデゴザイマスガ、然ラバ斯カル練達堪能ノ判事ガ發シタ略式命令ニ對スル正式裁判ニハ、ヨリ以上ノ老練ナ判事ヲ以テシナケレバナラヌト存ジマス、下位ニ居ル判事ガ自分ヨリモ上席ノ判事ノ裁判ヲ是正スルト云フヤウナコトハ、實際問題ト致シマシテ中々因難ガ伴フト存ジマスルガ、御當局ノ御所見ハ如何デゴザイマセウ、又只今次官ノ御説明ニ依リマシテ、昭和十七年ノ三月下旬以來、昭和十八年ノ十二月末日マデニ、相當廣範圍ノ判事ヲ區裁判所ニ轉補サレタ承リマシテ、當局ガ、人事行政ノ上ニ拂ハレシ、アル御苦心ノ程ハ、十分之ヲ諒承致シタノデアリマスガ、然ラバスカル老練ナル判事ヲ正式裁判ノ衝ニ當ラシメルト云フ意味デゴザイアセウ、若シ然リト致シマスレバ勢ヒ略式命令係判事ニ人ヲ得ナイ結果トナリ、若シ又是等ノ判事ニ略式命令係ヲ擔當セシメルト致シマナスラバ、正式裁判ニ其ノ人ヲ得ザル結果トナルト存ズルノデゴザイマスルガ、果シテ如何ナル御考ヘデゴザイマセウ

○大森政府委員 御説御尤モニ存ズルノデアリマス、御承知ノヤウニ、刑事訴訟法ノ下ニ於キマシテハ、略式手續ヲ致シマシタ判事ト、正式裁判ヲ取扱ヒマスル判事ト同デアリマシテ、實際ノ場合ニ於テハ、異ツ

タル判事ニ取扱ハシメルコトガ、最モ適當デアラウト思フノデアリマス、其ノ趣旨ニ從ヒマシテ出來得ル限リ略式裁判ヲナシタル判事ハ、正式裁判ヲ取扱フ判事トハ異ニスル仕組ニ致シテ居リマス、而モ其ノ方針ニ於キマシテ正式裁判ニ當ル判事ノ方ガ比較的優秀デアリ、練達デアリ、經驗者デアル、斯ウ云フ風ニ折角苦心ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尤モ地方ニ依リマシテハ、區裁判所ニ一人ダケノ判事ノ所ガアリマスドモ、數人以上ノ判事ヲ配置致シテ居ル區裁判所ニ於キマシテハ、今申シタヤウナ手續ヲ致シテ居リマス、サウシテ只今申シタ多數ノ區裁判所判事ヲ拘ヘタノデアリマスガ、是ハ總テ正式裁判ニ當ツテ居ルノデハナイノデアリマシテ區裁判所事務一般ニ當ツテ居リマスカラ、此ノ中ニ略式ヲ取扱フモノ、又正式裁判ニ當ルモノガ自ラ分レテ居ルノデアリマス、此ノ分レ方ニ依ツテ練達ノ方ヲ正式裁判ニ成ダケ差同ケタイ、斯ウ云フ方針ニ依リマシテ只今申上ゲタヤウナ注意ヲ以テ臨ンデ居ル次第デアリマス○大川委員 只今ノ次官ノ御答辯ニ關聯シテ一言御尋ネヲ致シタイノデアリマス、略式命令ヲ發シタ判事ハ當該略式裁判ニ關與セシメナイト云フ方針ヲ執ツテ居ル、斯様ニ仰セニ相成ツタノデアリマスガ私モ全くなイト私ハ存ズルノデアリマス、寧ロ同二ノ判事ガ同一ノ事案ニ付テ、自ラ公判ニ於テ裁判ヲスルコトハ必ズシモ非難スペキモノデナイト私ハ存ズルノデアリマス、明鏡止水、トカトモ存ズルノデアリマス、明鏡止水、

神ノ境地ニ立ツテ過ツテハ改ムルニ何ノ憚
ル所ナシトノ英斷ヲ有セラル、多クノ判事
ガ居ラル、コトヲ私ハ十分承知致シテ居リ
マス、併シナガラ一般國民ノ中ニハ、略式
命令ヲ出シタ判事ハ面白上公判ニ於テモ略
式命令ヲ維持スルデアラウ、自己ノ先入主
ニ囚ハレテ判事ガ檢事化スルデアラウトノ
危惧ノ念ヲ懷クモノモ亦少シトシナイト存
ジマス、斯クテハ事案ニ對スル國民ノ信賴
ニ關與スルヲ許サナイト云フ原則、確カナ
ナイト存ジマスルノデ、只今次官ノ御答辯
ノ略式裁判ヲ發シタ判事ハ、當該正式裁判
極メヲ御立テ下サル御意思ガアルデゴザイ
マセウカ、重ネテ御伺ヒスル次第デゴザイ
マス

○大森政府委員 既ニ御話ニナリマシタ通
リ、略式ヲ取扱ヒマシタ判事ト正式裁判
ニ當リマスル判事ガ同一人デアリマスルコ
トハ固ヨリ違法デハナイノデアリマス、刑
事訴訟法ニモ其ノ點ハ明記セラレテ居ルノ
デアリマス、而シテ之ヲ同一人ニスルコト
ガ事實上ニ於テ得策ナリヤ否ヤト云フコト
ニ付キマシテハ、今御述ベニナリマシタヤ
ウニ二様ノ見解ノアルコトハ是レ亦私共モ
考ヘテ居ルノデアリマス、併シ結局ニ於キ
マシテ、ドチラガ宜イカト申シマスルト、
大多數的ノ見地カラ申シマスルト、判事ヲ
異ニシタ方ガ宜イト思フ、ノミナラズ實際
ノ便宜カラ申シマシテモ、公判外ニ略式手
續ヲ執リマシタル判事、公判ニ於テ正式裁
判ニ當ル判事ヲ分ケテ置キマス方ガ、事件
ノ取扱ヒモ便利デアル、デアリマスルカラ
判事一人シカ居ナイト云フ所ハ別トシテ、
然ラザル限リハ判事ハ成ルベク之ヲ分ケテ

行キタイ、此ノ方針デ今後トモ進ンデ參リ
タイト存ジテ居リマス

○大川委員 質問ノ第五點ト致シマシテ、

拘留中ノ被告人ヨリ正式裁判ノ請求アリタ
ル場合、被告人ハ其ノ公判期日ノ一日モ早
カランコトヲ希望致スノデアリマスルガ、
ルデゴザイマセウカ、曩ニ略式手續ノ範圍
ヲ擴張セラレマシタ趣旨ハ、申上ゲルマデ
モナク事件ノ一層敏活ナル處理ヲ圖ラント
スルニアリマス、然ルニ偶々略式命令ニ不服
ノ故ヲ以テ正式裁判ヲ請求致シマシテモ、
其ノ公判期日ガ、荏苒トシテ容易ニ指定サ
レナイ、甚ダシキハ一箇月以上モ被告人ヲ
拘留シタ儘放置セラレル、ソレガ爲メ被告人
人ハ公判期日ヲ待チ切レズシテ心ナラズモ
正式裁判ノ請求ヲ取下ゲテ略式命令ニ服罪
ヲスル、若シ斯様ナ事例ガ頻々ト起ルヤウ
ネコトガゴザイマスレバ、折角略式命令ノ
範圍ヲ擴張シテ、迅速ナル審理ヲ進メント
スル法ノ親心ニモ悖ル結果トナルト存ジマ
ス、司法院ハ此ノ點ニ關シ如何ナル御高
配ヲ賜ハツテ居ルノデゴザイマセウカ、此ノ
際勾留中ノ被告人ノ正式裁判ニハ一定ノ期
限ヲ定メ、其ノ期限内ニ必ズ公判ヲ開延セ
シムルヤウ促進ノ方途ヲ御講ジ下サル御意
思ガアルカドウカ、又大體幾日位ノ期間内
ニ公判ヲ開クベキガ相當ト思量セラレテ居
マスルカ承リタインデゴザイマス

○大森政府委員 全ク御示シノ通りニ略式

手續キヲ擴張シマシタ所以ハ、裁判ノ敏速
ト云フコトニ重キヲ置イタコト正ニ其ノ一
ツノ理由デアリマス、隨テ略式手續擴充ノ
結果、裁判ガ却ツテ遲延ラスルト云フヤウ

ナコトハ、私共ノ最モ望マザル所デアリマ
ス、而シテ今日ノ實際ヲ申シマスルト、成
ベク早ク公判ニ掛ケルコトヲ望ンデ居リマ
スケレドモ或ル裁判所ニ依リマシテハ、事
件ガ多數ノ場合ニハサウモナリ兼ネルコト
モアルノデアリマス、ソレデ只今ノヤウナ
御話モ出タコトカト考ヘルノデアリマス、
併シ略式手續ニ對スル正式裁判ノ要求ナル
ガ故ニ、故意ニ之ヲ延バスト云フコトハ絶
対ニナインデアリマス、是ハ他ノ事件ニ比
シテ早ク取扱ハナケレバナナイト云フ方針ニ
付テハ私共固ク之ヲ守ツテ居ル所デアリマ
ス、然ラバ幾日以内ニ必ズ公判ニ掛ケナケ
レバナラナイト云フ其ノ期限デアリマスガ、
實際ニ於テ此ノ期限ハ設ケニクイノデアリ
マス、之ヲ設ケマシテモ、事實ニ於テ公判
ニ掛ケラレナケレバソレマデデアリマスカ
ラ、是ハ具體的ニ幾日以内ト云フコトハ避
ケテ、成ベク早クヤルト云フ抽象的ノ方針
ヲ強ク進メテ參ル方ガ得策カト存ジマス、
尙ホ然ラバ今日如何ナル裁判所ニ於テドノ
位ノ程度デ事件ガ進ンデ居ルカト云フコト
ニ付キマシテハ、今日調査ノ表ヲ持ツテ居
リマセヌカラ、次回マデニ何等カ取調べマ
シテ御答ヘラシタイト存ジテ居リマス、何
付キマシテハ、此ノ上トモニ十分ニ努力ヲ
致ス考ヘデアリマス

○大川委員 次ニ第六點ト致シマシテ二審
制採用ニ伴ヒ、當局ハ保護許可ニ付キ如何
ナル考慮ヲ拂ハレツ、アルカト云フコトヲ
伺ヒタイノデアリマス、曩ニ劃期的ナル裁
判所構成法戰時特例ノ改正ヲ見マシテ、今
ヤ上告裁判ガ國民的信賴國民的注目的ト
ナツテ參リマシタ、原審デ不服ノ判決ヲ言渡

サレタ時ニハ上告審デ救ハレナイ限り、他ニ救
ハレル途ハナエマス、然ルニ翻ツ
テ思ヒマスルニ此ノ國民的信賴ノ的ニ憧憬レ、
止マリ、又ハ上告ヲ取下ゲテ、血涙ヲ呑ンデ原

審判決ニ服スル者ガ如何ニ多イコトデゴザ
イマセウカ、殊ニ經濟犯罪ハ今日激増ノ一途
ヲ辿リ、其ノ質ト量トヲ以テ既ニ刑事司法ノ

全貌ヲ一變セシメタ觀ガゴザイマス、然ルニ
經濟事件ニ於テ其ノ對象トナルベキ人々ハ、
盜賊アル前科者デモナク、又貧窮者デモナ
イ、其ノ經歷ニ於テモ生活ニ於テモ一般ノ

デアリマス、彼等ハ性格異常者デモナク、
從來ノ被告人ト著シク事情ヲ異ニスル人達

デアリマス、彼等ハ性格異常者デモナク、
從來ノ被告人

形無形ノ損害ニ止マラズ、實ニ司法ノ威信
ニモ關スルナキヤヲ私ヲ憂フルモノデアリ

今其ノ二三ノ例ヲ簡単ニ申上ダマスルト、
第一ニ全國ノ拘置所ニハ各、定員ノ定メガア
ルコトト存ジマス、然ルニ拘留ガ長引ク結
果ト致シテ、何レノ拘置所モ滿員ノ盛況デ
ゴザイマス、定員以上ニ被告ヲ收容スルコ
トハ、裁判所自ラ遵法精神ヲ蹂躪セラビテ
居ルトノ世ノ謗リヲ免レナイト私ハ存ズル
ノデアリマス

コトハ、事實上ニ於ケル二審制度ノ破壊
デアリマス、保釋ガ許可サレナイ結果、
被告人ハ少クトモ三箇月以上ノ未決拘留ノ
危險ヲ覺悟シナケレバ上告ガ出來ナイ、ソ
レガ爲メ已ムナク上告ヲ思ヒ止マリ、一審
刑ニ服スル者ガ餘リニモ多イト云フヤウ、
ドウシテ二審制度ノ妙味ヲ發揮スルコトガ
出來ルデヨザイマセウカ當局ノ御説明ニ
依リマスト、區裁判所事件ニ付テ控訴タル
地方裁判所ニ於テ取消變更セラレタモノガ
昭和十七年度カラ過去五年ニ遡ツテ、其ノ
平均ガ三割一分トナツテ居リ、又地方裁判
所カラ其ノ控訴審ニ取消變更サレタモノガ
同ジク二割七分ト相成ツテ居ルト申サレマ
シタガ、斯クノ如キ從來ノ控訴ノ利益ハ二
審制ノ下ニ於キマシテハ之ヲ上告審ニ求メ
ナケレバナリマセヌ、然ルニ保釋ガ許サレ
ズシテ此ノ恩惠ニ浴セシメルコトガ出來ナ
イヤウデ、ドウシテ司法ノ威信ヲ保持出來
ルデゴザイマセウカ

裁判所トノ間ニ概シテ刑罰ニ輕重ガアル、例ヘバ近來大阪控訴院管下ノ經濟事犯ニ付テ其ノ著シキヲ私ハ見ルノデアリマシテ、此ノ判決ニ凸凹ガアルコトハ、判事ノ獨立性ニ鑑ミテ已ムヲ得ナイコトハ存ジマスルガ、裁カレル裁判所ニ依ツテ被告人ニ運不運ガ伴フト云フガ如キハ、國家ノ裁判ニ對スル國民的信賴ヲ失ヒ、延テハ戰意昂揚ノ面ニ累ヲ及ボスナシト誰ガ保證シ得ルデゴザイマセウカ、今回御提案ノ經濟關係罰則ノ整備ニ關スル法律案ハ、法規ト法規トノ刑罰ノ均衡ヲ圖ラントセラレル趣旨カト拜察致シマスルガ、此ノ裁判所ト裁判所ノ判決ノ不均衡ヲ是正致シマスル途ハ上告以外ニ方法ハナイノデアリマス、然ルニ保釋不許可ニ依ツテ此ノ唯一ノ方途ヲモ阻止セラル、ヤウナコトガゴザイマスナラバ、裁判所ノ至公至平ハイツノ日ニカ實現スルデゴザイマセウ、以上私ハ私ノ淺キ経験ト狹キ視野ニ立ツテ事例ヲ申上ガタノデゴザイマスガ、若シ誤リアラバ御教示ヲ冀ヒ、併セテ當局ノ御所信ヲ御伺ヒスル次第デアリマス

マシテモ、可能ナル限リニ於キマシテ身柄ノ拘束ヲ解キマシテ、少シデモ増産力ノ增强ノ方ニ御奉公ヲ申上ゲル機會ヲ與ヘルト云フコトガ、是ハ全ク裁判所トシテ執ルベキ處置デゴザイマス、又裁判所ニ協力シマス検事トシテノ當然ニ心懸ケナケレバナラヌ方針ダト思ヒマス、左様ナ點デゴザイマシテ、其ノ趣旨ニ付キマシテハ從來色々ノ方法デ以テ、又適當ノ機會ニ裁判所モ、檢事局ニ於キマシテモ、其ノ趣旨ハ十分ニ傳達シテ居ルノデアリマス、又裁判所ニ於キマシテモ、檢事局ニ於キマシテモ、其ノ趣旨ハ十分ニ念頭ニ存シツ、其ノ保釋責付ノ問題ニ付テ取扱ヲシテ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、實際全國ノ裁判所ヲ通ジマシテ、私正確ニハ數字ヲ記憶致シマセヌケレドモ、最近マテ調査ノ結果ニ依リマシテモ、保釋責付ノ大體ノ條件ト云ヒマスト、過半數ノ者ガ保釋責付ノ許可ガ與ヘラレテ居ル實情デゴザイマス、是ハ具體的ノ事件デゴザイマスカラ、果シテ、先ニ申上ゲマシタ趣旨ガ下ノ程度ニ行ハレマスカ、其ノ點分リマセヌケレドモ、大體過半數ノ者ガ保釋責付ノ許可ガ與ヘラレテ居ルト云フ實情デゴザイマス、或ハ多數ノコトデゴザイマスカラ、一二當然ニ保釋ヲ許可シ、又責付ノ許可ヲ與ヘナケレバナラヌニ拘ラズ、ソレガ與ヘラレナカツタト云フ事例モ或ハアラウカト思ヒマス、併シナガラ司法部ニ於キマシテ、殊ニ裁判所方面ニ於キマシテモ、右申シマシタヤウナ趣旨ノ下ニ、適當ナ取扱ヲシテ居ルノデハナイカト思ヒマス、尙示人點ニ付テモ十分ニ裁判所ノ實務家方面ニ

傳達スル積リデゴザイマス、尙ホ此ノ保釋
責付ノ取扱方ガ嚴格デアル爲ニ、現在各地
ノ刑務所ガ滿員ノ盛況ヲ呈シテ居ル、刑務
所ノ定員ヲ超エテ收容サレシ居ルト云フタヤ
ウナ御説モゴザイマシタケレドモ、今日全
國ノ刑務所ヲ通ジマシテ、刑務所、殊ニ拘
置所、被告人ヲ拘束シマス所ノ拘置所ニア
リマスガ、拘置所ニ定員ヲ定メテアリマス
ノハ大阪タケデゴザイマス、其ア他ハ定員
ノ定メハゴザイマセヌ、而モ大阪ノ拘置所
ニ於キマシテハ、定員ヲ超エマスルモノニ付
キマシテハ、大阪ノ刑務所ニ相當ノ餘裕ガゴ
ザイマシテ、其ノ方ニ收容シテ居ルト云フ
超エテ收容サレシテ居ルト云フ事實ハナイヤ
ウニ私ハ存ジテ居ルノデゴザイマス、尙ホ
風ナ關係モゴザイマシテ、刑務所ノ定員ヲ
人ヲシテ所謂從來ノ三審制ノ下ニ於ケル上
訴ノ利益ヲ失ハシヌ、又ソレガ爲ニ各地各
地ノ不均衡ノ判決ノ是正ノ途モ失ハシムル
虞ガアルト云フヤウナ御懸念ガゴザイマシ
タ、此ノ點ニ付キマシテモ、實ハ司法省ト致
シマシテモ重大ナ關心ヲ持ツテ居リマシテ、
二審制ノ運用ノ状況ナドニ付テ調査ヲシテ
居ルノデゴザイマスケレドモ、只今マデノ
調査ニ依リマスレバ、二審制ノ全面的ナ作
用ト云フコトガ、先程モ御指摘ニナリマシ
タヤウニ、判事ニ對シテ非常ニ責任ノ重キ
ヲ加ヘシタル、隨ヒマシテ具體的ナ事件ヲ
取扱ヒマスル判事ニ於キマシテモ責任ノ重
キヲ加ヘテ參リマシタコトニ付テ十分反省
シ又念頭ニ存シツ、裁判事務ヲ行フ爲デゴ
ザイマセウ、從來三審制ノ下ニ於テ行ハレ
マシタ手續ガ相當慎重ニナサレテ居リマス、
又色々ナ證人デアリマストカ其ノ他参考人

ナドヲ呼ビマス、或ハ證據調べ等ニ於キマ
シテモ相當ニ慎重サヲ加ヘテ居リマス、隨
ヒマシテ一審ノ審理ニ要シマスル日數ノ如
キモ相當ニ長キヲ加ヘテ居ルヤウナ次第デ
ゴザイマス、又第一審ノ判事ト致シマシテ
ハ、ニ審制モゴザイマセヌ爲ニ、是ハ人間ト
シテ當然考ヘラレルコトゴザイマスルケ
レドモ、從來デゴザイマスト、イ、加減ト
云フコトハ語弊ガゴザイマスルケレドモ、二
審デ以テ或ル程度ノコトガ出來ルダラウト
云フノデ裁判ガナサレタト云フ風ナコトモ
免レナカツタ點ガアラウカト思ヒマスケレ
ドモ、今日ニ於キマシテハ、左様ナコトモ
許サレマセヌ、第一審ニ於テ全責任ヲ以テ
裁判ヲシナケレバナラヌト云フ責任感ガゴ
ザイマスモノデスカラ、自ラ例ヘバ執行猶
豫ノ言渡シヲスルト云フヤウナ事例モ相當
多キヲ加ヘテ居ルト云フ實情デアリマス、
旁ニ審制ノ全面的ノ作用ニ依リマシテ、一
審ノ裁判ト云フモノガ慎重ニ而モ責任ヲ持
ツテ扱ハレテ居ル、隨ヒマシテニ審制ニナ
リマシタ爲ニ從來ノ裁判ト云フモノガ、國
民ノ信賴ノ念ヲ失ハシメ、或ハソレニ重大
ナル影響ヲ及ボスト云フ風ナ關係ハ萬々是
ナキコトヲ私ハ信ズル者デアリマス、尙ホ
不權衡ノ判決ノ是正ノ點ナドニ付キマシテ
モ上告審ニ於テ勿論事實審理ナドノ開カレ
ル途モアリマス、又ニ審制ノ實施ノ結果ニ
依リマシテモ、大審院ニ於キマシテ事實審
理ノ行ハレル事例ナドモ相當多キヲ加ヘテ
居ルノデアリマス、之ニ依ツテ國民ノ信賴ニ
對シテ重大ナル影響ヲ及ボス、或ハ國家正
義ノ實現ニ對シテ不安ヲ抱カシメルト云フ
ヤウナコトハナイト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、併シナガラ何レニ致シマシシテモ御指摘

ノ點ハ重大ナル點ニアリマシテ、適當ノ機
會ニ凡ユル方法ニ於テ、實務家ノ方ニ十分
ニ御論議ノ次第ハ傳達致シマシテ、裁判ノ
適正ニ行ハレマスルヤウニ注意シタイト思
ツテ居リマス

○大川委員 只今ノ御説明デ大體ノコトハ
諒承致シマシタガ、尙ホ機會ガアリマスルナ
ラバ、經濟事犯ニ付テ保釋ヲ許シタ者、不許
可ニシタ者等ニ關スル統計ガゴザイマスル
ナラバ、適當ナ機會ニ御示シガ戴キタイト思
ヒマス、又先程御話ノ大阪拘置所ノ定員ハ
收容人員ガ超過シテ居ナイ、斯ウ云フ御言
葉デゴザイマシタガ、若シ左様ナコトデア
レバ私ハ大變嬉シク思フノデアリマスガ、
尙ホ此ノ點モ能ク御調査相成リマシテ、若
シ不幸ニシテ定員以上ニ收容致シテ居ルト
云フ風ナコトデゴザイマスルナラバ、速力
ニ善處セラレンコトヲ希望致シマス

次ニ私ハ訴訟費用等臨時措置法ニ關シテ
御伺ヒラ致シマス、本案御提案ノ理由トシ
テ大臣ノ御説明ヲ承リマスルト、現在行ハ
レテ居ル民事及ビ刑事ノ訴訟費用、執達吏
ノ手數料竝ニ執達吏ニ對スル補助金等ノ額
ハ現下ノ諸情勢ニ鑑ミ、明カニ低額ニ失シ、
之ヲ放置スルコトハ訴訟關係人及ビ執達
吏ニ對シテ多大ノ不利不便ヲ強要スル結果
トナリ、延イテハ決戰體制下ニ於テ訴訟ノ促
進ヲ阻礙スルノ憂ヒモ多分ニアルト考ヘル
トノ御趣旨デゴザイマシタガ、私ハ其ノ御
提案ノ理由ニハ全然同感ノ意ヲ表スル者デ
ゴザイマス、唯特ニ私ノ希望ヲ申上ゲテ御
トハ、單ニ日當旅費ガ低額ナリトノ金錢問
題ダケデハナインデゴザイマス、證人、鑑

定人トシテ裁判所ニ出頭致シマスルコトハ
是ハ國民ノ義務デアリマシテ、國民ハ十分
之ヲ承知致シテ居リマス、隨テ其ノ日當旅
費ガ安イカラト云フ不平不満ヲ持ツヤウナ
者ハ餘リ多ク見受ケマセヌ、ソレヨリモ肝要
ナコトハ決戰體制下一刻千金ノ思ヒデ増産
ニ利シシムニ居ル產業人、日々目ノ廻ルヤウニ
多忙ヲ極メテ居リマスル町會役員トカ隣組長、
其ノ他銃後ニ於テ戰ツテ居ル人々ガ偶證人、
鑑定人トシテ御呼出シヲ受ケテ萬障ヲ排シ
テ定刻ニ出頭致シマシタニモ拘ラズ、裁判
ガ中々開廷サレナイ、九時ガ過ギ、十時ガ
過ギ、十一時モ近カラントシテ漸ク開廷サ
レテモ、證人調べガ直グ行ハレルトハ限ラ
ナイ、場合ニ依レバ晝食抜キデ午後二時、
三時ニ至ラナケレバ證人トシテノ義務ガ果
セナイ最後ニ裁判長カラ旅費日當ガ請求出
來ル旨ヲ如何ニ懇切丁寧ニ告ゲラレマシテ
モ、之ヲ受取ル手數ト時間ヲ惜ンデ、旅費
日當ヲ受取ラズニ倉皇トシテ歸ツテ行ク證
人ノ如何ニ多イコトデゴザイマセウ、私ハ
證人、鑑定人ノアル事件ニハ裁判所ガ特ニ
工夫ヲ凝ラシ、改善ヲ加ヘテ格別ノ便宜ヲ
與ヘラレルコトヲ切望致シマスト共ニ、曩
ニ制定セラレマシタ戰時特別法ノ證人、鑑
定人ノ訊問ニ代ヘル書面提出ノ條文ノ活用
ヲ望ンデ已マナイ者デアリマスガ、此ノ點
ニ關スル當局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマ
アリマス、實ハ是ハ多年ノ問題デアリマス

テ、何トカ改善ラシタイト云フコトニ我々
努力ヲシテ居リマスケレドモ、微力ニシテ
未ダ其ノ實效ヲ擧ゲ得ナイコトハ甚ダ慚愧
ニ堪ヘナイノデアリマス、是ハ御承知ノヤ
ウニ今日ノ裁判ノ取扱ヒト致シマシテ一日
ニ數件、十數件ヲ取扱ハナケレバカリマセ
ヌ關係上、證人ヲ呼ビマシテモ後ノ番ニナ
ツタリスル關係ガ多大ノ原因ニナルノデア
リマス、若シ是ガ裁判所ガ常ニ一日一件ヲ
取扱フト云フコトニナリマスレバ、是ハ極
メ問題ガ簡單ニ解決ガ出來ルノデアリマ
スケレドモ、事件多數ノ爲ニ左様ニ出來テ
イ實情デアリマシテ、甚ダ殘念ニ存ズルノ
デアリマス、併シ現狀ノ下ニ於テ勿論改
善シ得ベキコトハ改善シナケレバナラナイ
ノデアリマス、今日ハ御承知ノ如クニ出勤
時間モ固ク厲行サレテ居リマスルカラ、以前
ヨリハ其ノ弊ガ餘程緩和サレテ居ルト思ヒ
マス、併シナガラ之ニ付キマシテモ決シテ
満足スペキ狀態ダトハ思ツテ居ナイノデア
リマシテ、更ニ努力ヲ重ねタイト思ツテ居
リマス、尙ホ御指摘ニナリマシタ書面以フ
テ提出シ得ルト云フ條文、是ハ御承知ノヤ
ウニ民事訴訟ニ於テ先ヅ開カレマシテ、民
事ニ於テハ相當活用サレテ居ルヤウニ思ヒ
マス、刑事ニ付キマシテハ是ハマダ實施後
ナ戰力増強ヲ專ラニスル時、無駄の手數ヲ
省キタイト云フ爲ノ規定デアリマスカラ今
日ニ於テコソ厲行スペキモノデアリマス、
之ヲ善用シテ良キ結果ヲ擧ゲタイト云フコ
トニ折角努力中デアルト云フコトニ御諒承
トテ願ヒタインデアリマス、

Digitized by srujanika@gmail.com

○大川委員 次ニ私ハ會社等臨時措置法案ヲ拜見シ付テ御伺ヒヲ致シマス、此ノ法案ヲ拜見致シマシテ私共ノ直感致シマスコトハ勅令ニ委任セラル、點ガ餘リニ多イ、ソレガ爲メ此ノ條文ダケデハ容易ニ其ノ是非ヲ決シ兼ネルノデアリマス、ソコデ私ハ以下數點ニ亘ツテ事務的ノ御質問ヲ申上ガタイト存ジマスルガ、先程承リマスルト勅令案ノ要綱ト申シマセウカ、之ニ關スル參考資料ヲ頂戴シタノデアリマスルカラ、詳シグハ其ノ参考資料ヲ拜見スルコトニ致シマシテ擇摘シテ御質問ヲ申上ダマス、條文第二條ノ「其ノ資本金ノ總額ガ勅令ヲ以テ定ムル額ニ満タザルモノニ在リテハ」トアル、其ノ額ハ大體如何ナル數額ヲ豫定セラレマスルカ、又同條ノ「商法第百六十六條第二項ニ定ムル公告方法ト異ル定ヲ爲スコトヲ得」トアル、其ノ「異ル定」下ハ如何ナル場合ヲ豫定セラレマスルカ

○大森政府委員 只今御尋ねノ第二條關係ノ勅令デアリマスルガ、マダ各官廳トノ交渉が十分ニ進ンデ居リマセヌカラ具體的、明確ナコトハ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、司法省トシテ先ヅ此ノ位ノ所ヲ希望シテ居タル云フ程度ハ申述ベテ宜シイノデアリマス、ソレハ資本金二十萬圓ニ満タザル株式會社、之ヲ第二條第二項ニ定ムル株式會社ニ對シマシテ商法第百六十六條第二項ニ定メテアリマスヤウニ、官報又ハ日刊新聞ニ必ズ依ラケレバナラゲ少ク殊ニ地方新聞ニ於テ然リ感ズルノ

○大森政府委員 次ニ私ハ會社等臨時措置法案ヲ以テ定ムル數ヲ超ユルモノトアル、其ノ「勅令ヲ以テ定ムル數」ノト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマシテ、要スルニ小サイ株式會社ヲ助ケタイト云フ意味ニ過ギナインデアリマス、然ラバドウ云フ公告方法ヲ定メタラ宣イカト云フ譯デアリマスガ、是ハ凡ソ公告ニ適スル方法ナラバ定款デ以テソレヲソレヘ決メテ宜シイノデアリマスケレドモ、大體先ヅ私共ノ豫想致シマスルニハ、本店ノ店頭ニ掲示スルガ如キハ最モ多ク採用セラル、例カト存ズルノデアリマス

尙ホ序デヲ以チマシテ何ガ故ニ二十萬圓ヲ限度トシタカト云フ點ニ付テ簡單ニ申ベタイト存ズルノデアリマス、昭和十六年ノ十二月末ノ調査デアリマスルカラ現在トハ多少違ヒマセウケレドモ、此ノ調査ニ依リマスルト、株式會社ノ數ガ三萬八千百九十五社アルヤウデアリマス、此ノ中デ二十萬圓ノ資本ニ満タザルモノガ二萬八千百九十一社アルヤウデアリマス、即チ相當多數ノモノガ二十萬圓未満ノ資本デアリマスルカラ、先ヅ二十萬圓未満ヲ限度トスルコトガ適當デナイカト存ジマシタノガ一ツデアリマスルシ、御承知ノヤウニ第二條ノ趣旨云フ、大體二千萬圓程度ノ會社ガ此ノ株式ニ多イノデアリマスモノモアリマスケレドモ、大體二十萬圓程度ノ會社ガ此ノ株式ニ多イノデアリマス、更ニ今申述ベマシタ各種ノ會社ハ十萬圓程度ノ會社ガ此ノ株式ニ多イノデアリマスカラ、其ノ制限ノナイ各種ノ會社ノ大多數ヲ占メル先ヅ二十萬圓見當、是ガ適當デナイカト考へタ次第ゴザイマス

○大森政府委員 御指圖ニ依リマシテ、逐次一應ノ御説明ヲ申上ガタイト存ズルノデアリマス、第四條デアリマスルガ、御承知ノヤウニ株主總會ノ決議ヲ要スル事項ハ商法ニソレヘ定マツテ居ルノデアリマス、併シ其ノ間ニ自ラ輕重大小ノ區別モアリマス、其ノ「勅令ヲ以テ定ムル數」ノ概略ヲ承リタイノデアリマス、尙ホ此ノ員數ト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマシテ、要スルニ小サイ株式會社ヲ助ケタイト云フ意味ニ過ギナインデアリマス、然ラバドウ云フ公告方法ヲ定メタラ宣イカト云フ譯デアリマスガ、是ハ凡ソ公告ニ適スル方法ナラバ定款デ以テソレヲソレヘ決メテ宜シイノデアリマスケレドモ、大體先ヅ私共ノ豫想致シマスルニハ、本店ノ店頭ニ掲示スルガ如キハ最モ多ク採用セラル、例カト存ズルノデアリマス

○大森政府委員 第三條第一項ニアリマスル「勅令ヲ以テ定ムル數」ト云フノハ、大體ニ於テ司法省ト致シマシテハ五千人程度斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ記名株式ヲ有スル株主ノ數ガ五千人ヲ超エタ株式會社ニハ、此ノ第三條ノ便法ヲ認メヨウト云フ積リデアリマス、第二條ノ方ハ御承知ノヤウニ小規模ノ株式會社ニ之ヲ適用シヨウト云フノデアリマスルシ、第三條ノ方ハ株主多數ヲ擁スル株式會社、即チ大規模ノ株式會社ニ此ノ便法ヲ認メテヤラウ、斯ウ云トニハ何等關係ガナイ、第三條ハ要スルニ株主多數ヲ持ツテ居ル株式會社ニハソレゾレノ通知ノ方法ハ、是ハ面倒デアラウカラ、公報ノ方法デ之ヲ樂ニシテヤラウ、斯ウ云ト云フ趣旨ニ過ギナインデアリマス、

○大森委員 第四條中ノ「株主ノ利害ニ重なる影響ヲ及ボサザルモノ」トハ如何ナル事項デゴザイマセウカ、其ノ他第六條以下ノ各條文ニ付キマシテ、今少シ明確ニナリマスルヤウニ、當局ヨリ進ンデ御説明ヲシテ戴キマスルナラバ幸甚ニ存ズル所デゴザイマス

○大森政府委員 御指圖ニ依リマシテ、逐次一應ノ御説明ヲ申上ガタイト存ズルノデアリマス、第四條デアリマスルガ、御承知ノヤウニ株主總會ノ決議ヲ要スル事項ハ商法ニソレヘ定マツテ居ルノデアリマス、

以上申述ベタヤウナモノハ今日必ズシモ此ノ戰時下ニ限り總會ノ決議ヲ俟タズシテ、他ノ便法デ決メテ宜カラウト云ウヤフニ致シタインデアリマス、而シテ然ラバ何ガ故

ニ是ダケ餘り多クモナイ事項ヲ勅令ニ讓ツ
極メテ嚴格ニ守ツテ行キタイノデアリマス、
如何ニ戰時法デアレバト申シマシテモ、必
要以上ニ商法ノ定ムル所ノ規定ノ變更ヲ致
シタクハナイノデアリマス 卽チ此ノ制限
ハ固ク之ヲ守ルト云フコトハ變更ハ致シマ
セヌケレドモ、併シ斯様ナ戰爭デアリマス
ルカラ、今日ニアリマシテ明日ノ狀態ハ
豫測ハ出來マセヌ、不幸ニシテ事情ガ餘程
變化シマスルナラバ、此ノ條項モ多少更ニ
擴大スルノ必要ヲ生ジマセウ、即チ多少ノ
餘裕ハ存シナケレバナラナイト存ジタノデ
アリマシテ、ソレガ爲ニ一々法律ノ改正ト
云フコトハ是亦言フベクシテ行ヒ難イコト
デアリマスルカラ勅令ニ讓ツタ次第デアリ
マス、是ハ勿論定款デ便法ニ依ル旨ヲ定メ
テ置カナケレバナラナイノデアリマシテ、
定款デハドウ云フ便法ヲ定メモ宜イト思
ヒマスルケレドモ、例ヘバ取締役又ハ取締
役會ニ一任スルトカ、或ハ商法ノ定ムル所
ノ決議方法ヨリモ輕イ他ノ決議方法ヲ定メ
ラウト思フノデアリマス、第五條ハ「勅令ヲ
ル、即チ書面評決ノ途ヲ執ルトカソレド
以テ定ムル株式會社」是ハ具體的ニドノ株
式會社ト云フコトヲ勅令テ以テ定メタイト
存ズルノデアリマス、ソレデ今日差當リ考ヘ
テ居リマスノハ、日本興業銀行、日本勸業
銀行、日本發送電株式會社、東洋拓殖株式
會社、北支那開發株式會社等デアリマス、此ノ
會社ハ申上ゲルマデモナク、ソレド行政
官廳ヨリ嚴重ナル監督ヲ受ケテ居リマスル
カラ、勿論相當程度信賴シテ宜イト思フノ
デアリマスルノミナラズ、是等ノ會社ハ其ノ

アリマス、デアリマスカラ是等ノ數種ノ會社ニ付キマシテ、社債ノ登記ニ今少シク簡単ナ方法ヲ定メテ參リタイト云フノガ第五條ノ趣旨デアリマス、只今述ベマシタノハ五會社デアリマスルガ、是ガ今申上ゲマシタ通り格段ト社債ノ數ガ多イノデアリマシテ、ハリハ是ヨリハ少イケレドモ併シ他ノ會社ヨリハ遙カニ多イト云フ、一、二ノ會社ガ加ハルカモ知レマセヌ、併シ差當リトシテハ今申上ゲタ五會社ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ドウ云フヤウナ簡單ナ規定ヲ致スカト申シマスルト、御承知ノ商法第三百五條及び擔保附社債信託法第三十四條ノ規定ニ拘ラズ各回ニ於ケル社債ノ總額ヲ登記スルヲ以テ足ルモノトシマシテ、又此ノ登記申請デアリマスルガ、其ノ申請者モ簡單ニシテ總裁デアルトカ或ハ其ノ他會社ヲ代表スベキ取締役一人カラ申請ヲシテ、斯ウ云フヤウニシタイト思フノデアリマス、即チ申請ノ手續及ビ登記ノ掲載事項、之ニ餘程手心ヲ加ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ第六條デアリマスルガ「會社ノ爲スベキ公告、財產目錄其ノ他ノ書類ノ條件ガアリマシテ「機密」ノ保持其ノ他公益上ノ理由」ニ基カナケレバナラナイノデアリマスルガ、機密ノ保持ハ申上ゲルマデモナク國家機密デアリマス、ソレカラ公益上ノ理由トシテハ種々アリマセウガ、今日當面ノ問題トシテ考ヘテ居リマスルノハ紙ノ不足ニ付問題デアリマス、斯様ナ場合デアリマスルカラ紙ヲ極度ニ節約セシメナケレバナラ

ナイト存ジマス、ソレカラ今一ツハ業者間
特ニ銀行ノ業者ニアリ勝チダサウデアリマ
スルガ、必要以上ノコトヲ公告ニ掲ゲマシ
テ、サウシテ不當ノ競争ヲ助長スルト云フ
弊ガアルヤウニ聞キ及ンデ居ルノデアリマ
ス、斯カル際デアリマスルカラ不當競争ハ
勿論之ヲ止ムベキデアリマシテ、ソレ等ノ
點ヲ公益上ノ理由ト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、サウシテ勅令事項ト致シマシテハ、是
等ハ監督官廳ヲ持ツ會社ニ限リタイト思フ
ノデアリマシテ、サウシテ此ノ監督官廳ハ
機密ノ保持其ノ他公益上ノ理由カラ商法第
二百八十三條、銀行法第十一條等ノ規定ニ
ニ依ル貸借對照表ノ公告ニ付テ相當ノ制限
ヲ加ヘ得ルコトニシタイト云フノガ一ツ、
ソレカラ商法第四百二十一條及ビ其ノ準用
規定ニ依リマスル債權申出ニ付テノ公告
是ハ御承知ノヤウニ今日デハ三回致サナケ
レバナラナクナツテ居リマスルガ、之ヲ二回
デ宜シトイシタイト思フノデアリマス、ソ
レカラ又銀行ノ臨時休業ノ公告、是ハ店頭
揭示デ結構ダト云フコトニシタイト思フノ
デアリマス、更ニ又日本興業銀行法第十三
條ノ三、日本勸業銀行法第三十五條ノ三、
北海道拓殖銀行法第十二條ノ三等ノ規定ニ
依ル各種債券ノ賣出ニ關スル公告ハ是ハ止
メテシマハウト思フノデアリマス、是等ハ
新聞其ノ他ニ於テ十分ニ民間ニ知レテ居ル
コトデアリマスルカラ、一々會社自身ガ公
告ヲスルノ必要モナイノデアリマス、ソレ
ヲ此ノ際止メシマヒタイト思フノデアリマ
ス、ソレカラ又擔保附社債信託法第二十
財產目錄其ノ他ノ書類ノ謄本又ハ抄本ノ交

付ノ特例ト致シマシテハ、監督官廳ハ是等書類ノ謄本又ハ抄本ノ交付ニ付キマシテ、ソレハ會社ニ對シ其ノ記載事項ヲ省略シタイ、又謄本、抄本ノ交付ヲナスコトノ必要ナシト云フ旨ノ指示ヲ適宜ナシ得ルコトニシタイン、シタイント思フノデアリマス、即チ勅令ニ依リマシテ是等ノ監督官廳ニ委任ヲ致シマシタ指示權ヲ興ヘテ、其ノ指示權ノ發動ニ依リマシテ適宜其ノ處置ヲナサシメタイト考へテ居ル次第アリマス、尙ホ又信託證書其ノ他ノ書類ノ謄本ノ備置キノ特例デアリマスガ、是ハ信託證書、社債權者集會ノ決議錄等、是等ハ各支店ニ備置カナケレバナラナイヤウニ現行法上ハナツテ居リマスルケレドモ、是ハ止メタイ、其ノ趣旨デアリマス、次ニ第七條デアリマスガ、是ハ勅令ヲ以テ定ムル會社ノ合併又ハ資本ノ減少ノ場合ニ於キマシテ、債權者ニ對シテナスベキ催告其ノ他ノ事項ニ付テ勅令デヤハリ簡易ナ方法ヲ執ラシヌヨウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、是モ會社ヲ限定シタインデアリマシテ、合併ノ場合ニアリマシテハ、合併當事者ノ雙方又ハ一方ガ其ノ主タル營業ニ付テ官廳ノ監督ヲ受クルモノニ限リマス、又資本ノ減少ノ場合ニアツテハ、其ノ會社ノ主タル營業ニ付テ官廳ノ監督ヲ受ケタルモノニ限ルノデアリマス、之ヲ要スルニ監督官廳ノアル場合ニ限ツテ此ノ規定ヲ適用シタイト思フノデアリマス、ソレカラ次ニ商法第百條關係ノ期間ハ法定二箇月ニナツテ居リマスルケレドモ、之ヲ大體三週間程度ニ縮メタイト云フノガ一ツデアリマス、ソレカラ又商法第三百七十七條、是ハ御承知ノヤウニ三箇月ニナツテ居リマスルケレドモ大體ニ於テ一箇月ニ限定シタイン

斯ウ云フ積リデアリマス、即チ第七條ニ於キマシテハ、監督ヲ受ケテ居ルヤウナ會社ノ合併又ハ資本ノ減少ニ付テ、是等催告等ノ手續ヲ商法所定ノ期間ニ比シテ簡素化シタイト云フ趣旨デアリマス、次ニ第八條デアリマスルガ、前ニ申シマシタソレノノ規定ヲ此ノ會社デナイ會社以外ノ法人ニ準用シタイト云フノデアリマスルガ、此ノ準用セントスル會社以外ノ法人、是モ相當強ク制限ヲシタイ積リデアリマス、今日考ヘテ居リマスル所デハ、第三條ヲ市街地信用組合、商工組合中央金庫、農林中央金庫、之ニ準用シタイト存ジテ居リマス、次ニ第四條ヲ市街地信用組合、商工組合、商工組合中央金庫、農林中央金庫ニ準用シタイト思ツテ居リマス、第五條ヲ戰時金融金庫、南方開發金庫、產業設備營團ニ準用シタイト思ツテ居リマス、第六條ヲ日本銀行、商工組合中央金庫、農林中央金庫、庶民金庫ニ準用シタソレハ、準用ノ客體リマス、今申シマシタソレハ、準用ノ客體ニナリマスルモノハ多少ノ伸縮ハアルカモ知レマセヌ、併シ大體ヲ斯様ナコトニ見當ヲ付ケマシテ、サウンシタソク之ヲ擴ダタクナイ積リデアリマス、大體斯様ナ程度デ多少ノ伸縮ハアルト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、甚ダ蕪雜デアリマスルヶレドモ、一應ノ御説明ヲ申上ガマス

○濱野(徵)委員 一寸只今御説明ノアツタ條文ニ付テ御伺ヒ致シマス、今御親切ナ御説明ヲ承ツタ中、第二條ノ「公告方法ト異ル規定ヲ此ノ會社デナイ會社以外ノ法人ニ準用シタイト云フノデアリマスルガ、此ノ準用セントスル會社以外ノ法人、是モ相當強ク制限ヲシタイ積リデアリマス、今日考ヘテ居リマスル所デハ、第三條ヲ市街地信用組合、商工組合中央金庫、農林中央金庫、之ニ準用シタイト存ジテ居リマス、次ニ第

一ソレカラ序ニ第三條「勅令ヲ以テ定ムル數」ト云フ數ハ御示シヲ願ヒマシタガ、一體此ノ數ヲ定メルノハイツヲ標準トスルカ、例へバ五千株ト云フコトニナリマスト、近頃ハサウ云ツタ所謂會社屋ハアリマセヌケレドモ、身内ノ者ニ株ヲ切換ヘルコトモ出来マシン、又株ヲ縮小シテ十人ノ株ヲ買收シテ一人ニスルト云フヤウナ方法ガ出來マント思ツテ居リマス、第六條ヲ日本銀行、商工組合中央金庫、農林中央金庫、庶民金庫ニ付ス、自然又紛糾ガ起ル場合ガアリマスノリマス、今申シマシタソレハ、準用ノ客體ニナリマスルモノハ多少ノ伸縮ハアルカモ知レマセヌ、併シ大體ヲ斯様ナコトニ見當ヲ付ケマシテ、サウンシタソク之ヲ擴ダタクナイ積リデアリマス、大體斯様ナ程度デ多少ノ伸縮ハアルト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、甚ダ蕪雜デアリマスルヶレドモ、一應ノ御説明ヲ申上ガマス

○大川委員 嘗局ヨリ色々御懇篤ナル御答辯、御説明ヲ戴キマシタノデ私ノ質問ハ之ヲ以テ終了致シマス

六十六條第二項ニ定ムル公告方法ト異ルルカ、第三條ニ依ラズシテ、第一條ニ依ツテモウ當然是ハ許サレタル方法デ行クノカ、ヲ必要ト致シマセウカラ、幾ラ簡便ナ方法デモ會社ノ屋外ノ掲示ハドウ云フモノデアラウカ、之ニ付テ御考ヘガ伺ハレマスカ、若シ伺ハレマスナラバ、一般的ニ斯ウ云ツタヤウナコトガ想像セラル、ト云フヤウナ通常アリ觸レタ、而モ官報若シクハ時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞以外ノ大凡ノ標準ニナリサウナ所ヲ御示シヲ願ヘレバ結構デアリマス

ソレカラ序ニ第三條「勅令ヲ以テ定ムル數」ト云フ數ハ御示シヲ願ヒマシタガ、一體此ノ數ヲ定メルノハイツヲ標準トスルカ、例へバ五千株ト云フコトニナリマスト、近頃ハサウ云ツタ所謂會社屋ハアリマセヌケレドモ、身内ノ者ニ株ヲ切換ヘルコトモ出来マシン、又株ヲ縮小シテ十人ノ株ヲ買收シテ一人ニスルト云フヤウナ方法ガ出來マント思ツテ居リマス、第六條ヲ日本銀行、商工組合中央金庫、農林中央金庫、庶民金庫ニ付ス、自然又紛糾ガ起ル場合ガアリマスノリマス、今申シマシタソレハ、準用ノ客體ニナリマスルモノハ多少ノ伸縮ハアルカモ知レマセヌ、併シ大體ヲ斯様ナコトニ見當ヲ付ケマシテ、サウンシタソク之ヲ擴ダタクナイ積リデアリマス、大體斯様ナ程度デ多少ノ伸縮ハアルト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、甚ダ蕪雜デアリマスルヶレドモ、一應ノ御説明ヲ申上ガマス

○大川委員 嘗局ヨリ色々御懇篤ナル御答辯、御説明ヲ戴キマシタノデ私ノ質問ハ之ヲ以テ終了致シマス

○濱野(徵)委員 一寸只今御説明ノアツタ條文ニ付テ御伺ヒ致シマス、今御親切ナ御説明ヲ承ツタ中、第二條ノ「公告方法ト異ル規定ヲ此ノ會社デナイ會社以外ノ法人ニ準用シタイト云フノデアリマスルガ、此ノ準用セントスル會社以外ノ法人、是モ相當強ク制限ヲシタイ積リデアリマス、今日考ヘテ居リマスル所デハ、第三條ヲ市街地信用組合、商工組合中央金庫、農林中央金庫、之ニ準用シタイト存ジテ居リマス、次ニ第

資本ノ半額以上ニ至ル株主出席シ云々ト云
フノハ、ソレハ株主總會當日ノ計算ニ依ル
ベキモノダト存ズルノデアリマス
ソレカラ第三點ト致シマシテ、例ヘバ第
二條ノ公告方法ヲ定メル場合、又第三條ノ
「定款ニ定アル場合」是ハ第一項第二項共ニア
ルノデアリマス、即チ是等ノ便法ハ總テ定
款ニ其ノ旨ノ規定ガナケレバナラナイコ
トニ此ノ法案テハナツテ居ルノデアリマス、
然ルニ今日ノ會社ノ定款デハ固ヨリ斯様ナ
コトヲ豫想シテ居リマセヌカラ、斯様ナ定
款ノ便法ヲ作ラウト思ヒマスナラバ、是カ
ラ定款ノ變更ヲ致サナケレバナリマセヌ、
併シ此ノ定款ノ變更ハヤハリ商法所定ノ手
續ニ依ラナケレバナラナイノデアリマシテ、
ソレ自身ハ此ノ法案ノ便法ニハ依レナイ譯
デアリマス、併シ一度商法所定ノ手續ヲ經
マシテ便法ヲ採り得ル途ヲ開キマシタナラ
バ、爾後ハ此ノ規定ニ依リ簡略ニ參ル譯デ
アル、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス
次ハ第四點デアリマスルガ、營業ノ一部
ノ讓受又ハ一部ノ讓渡、是ハ其ノ一部ノ讓
渡、又讓受、共ニ比較的輕微ノ場合ニ限り
タイノデアリマシテ、ソレヲ勅令ニ如何ニ
致シマシテ、資本ノ何分ノ一ト云フ工合ニ
表ハスカト云フコトニ付テハマダ具體的ニ
決ツテ居リマセヌケレドモ、資本ト比較ヲ
テハドチラヲ取ルカハ今尙ホ考慮申デア
リマス、要スルニ比較的輕微ノモノト云フ
コトヲ頭ニ入レテ、ソレガ明カニナルヤウ
ニ勅令ヲ設ケタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
サウシテ例ヘバ營業ヲ讓受ケマシタ場合ニソ
レダケ新シイ營業ガ營エテ目的ガ變更ニナ

ルコトモアリマセウ、又營業ヲ讓渡シマシタ
場合假令一部デアリマシテモソレガ爲ニ目的
ガ少クナツテ變更スルト云フコトモアリ得マセ
ウ、併シ斯様ナ場合ノ目的ノ變更ハ是ハヤハリ
定款ノ變更ノ商法所定ノ手續ヲ要スルノデ
アリマス、茲ニ許サレル便法トシテ採リ
得ル營業ノ讓渡若クハ讓受ハ是ガ爲ニ目的
ノ變更ニナラナイ場合ダケヲ豫想シテ居ル
積リデアリマス、尤モ軍需會社ニ付キマシ
テハ軍需會社法ニ別段ノ規定ガアリマスル
カラ、之ニ依ルノデアルケレドモ、軍需會
社以外ノ場合ニ付キマシテハ讓渡讓受ニ依
シテ目的ノ變更ニナラナイ場合、是ダケガ
便法ニ值ヒスル、斯様ニ御考ヘラ願ヒタイ
ノデアリマス、ソレカラ第四條關係ノ定款
ヲ以テ總會ノ決議ニ依ラザルモノトスルコ
トガ出來ル、其ノ方法トシテハドウ云フモ
ノガ豫想サレルカト云フコトノ御質問ノヤ
ウニ承リマシタ、例ヘテ申シマスルト、取
締役ニ一任スル即チ取締役ノ一人ガ之ヲ專
斷ニ決シテ宜イト云フコトモアリマセウ、
或ハ取締役會ノ決議ニシテモ宜イト云フコ
トモアリマセウ、或ハ株主ノ數ガ餘リ多ク
ナイヤウナ會社ニアリマシテハ書面表決、
往復葉書ヲ取ツテソレデ決ヲ採ルト云フコ
トモ考ヘラレマセウガ、大抵ノ場合ハ御承
知ノヤウニ株式會社ニ於キマシテハ株主ガ
多イノデアリマスルカラ取締役ノ一人若ク
ハ取締役ノ決議ニ一任スルト云フコトガ多
クナルグラウト豫想シテ居ルノデアリマス、
以上一應申上げマシタ

○谷原委員長 伸井間宗一君
○仲井間委員 法文ニ付テ簡單ニ承リタイ、
會社法ニ付キマシテ詳細ナ御説明ヲ承リマ
シタ、十分ニ理解ガ出來マシタ、此ノ經濟
關係罰則ノ整備ニ關スル法律案ノ法文ニ付
キマシテハ御手許マデ慥カ御配付申上ゲテア
ルト思ヒマスガ、經濟關係罰則ノ整備ニ關
スル法律案參考資料司法省刑事局、此ノ參
考資料ノ附屬ノ表ノ二枚目デゴザイマス、
ノデアリマス、ソレカラ第四條關係ノ定款
ヲ以テ總會ノ決議ニ依ラザルモノトスルコ
トガ出來ル、其ノ方法トシテハドウ云フモ
ノガ豫想サレルカト云フコトノ御質問ノヤ
ウニ承リマシタ、例ヘテ申シマスルト、取
締役ニ一任スル即チ取締役ノ一人ガ之ヲ專
斷ニ決シテ宜イト云フコトモアリマセウ、
或ハ取締役會ノ決議ニシテモ宜イト云フコ
トモアリマセウ、或ハ株主ノ數ガ餘リ多ク
ナイヤウニ株式會社ニ於キマシテハ株主ガ
多イノデアリマスルカラ取締役ノ一人若ク
ハ取締役ノ決議ニ一任スルト云フコトガ多
クナルグラウト豫想シテ居ルノデアリマス、
以上一應申上げマシタ

○池田(克)政府委員 只今御尋ネノ點ニ付
キマシテハ御手許マデ慥カ御配付申上ゲテア
ルト思ヒマスガ、經濟關係罰則ノ整備ニ關
スル法律案參考資料司法省刑事局、此ノ參
考資料ノ附屬ノ表ノ二枚目デゴザイマス、
ノデアリマス、ソレカラ第四條關係ノ定款
ヲ以テ總會ノ決議ニ依ラザルモノトスルコ
トガ出來ル、其ノ方法トシテハドウ云フモ
ノガ豫想サレルカト云フコトノ御質問ノヤ
ウニ承リマシタ、例ヘテ申シマスルト、取
締役ニ一任スル即チ取締役ノ一人ガ之ヲ專
斷ニ決シテ宜イト云フコトモアリマセウ、
或ハ取締役會ノ決議ニシテモ宜イト云フコ
トモアリマセウ、或ハ株主ノ數ガ餘リ多ク
ナイヤウニ株式會社ニ於キマシテハ株主ガ
多イノデアリマスルカラ取締役ノ一人若ク
ハ取締役ノ決議ニ一任スルト云フコトガ多
クナルグラウト豫想シテ居ルノデアリマス、
以上一應申上げマシタ

○池田(克)政府委員 只今御尋ネノ點ニ付

キマシテハ御手許マデ慥カ御配付申上ゲテア
ルト思ヒマスガ、經濟關係罰則ノ整備ニ關
スル法律案參考資料司法省刑事局、此ノ參
考資料ノ附屬ノ表ノ二枚目デゴザイマス、
ノデアリマス、ソレカラ第四條關係ノ定款
ヲ以テ總會ノ決議ニ依ラザルモノトスルコ
トガ出來ル、其ノ方法トシテハドウ云フモ
ノガ豫想サレルカト云フコトノ御質問ノヤ
ウニ承リマシタ、例ヘテ申シマスルト、取
締役ニ一任スル即チ取締役ノ一人ガ之ヲ專
斷ニ決シテ宜イト云フコトモアリマセウ、
或ハ取締役會ノ決議ニシテモ宜イト云フコ
トモアリマセウ、或ハ株主ノ數ガ餘リ多ク
ナイヤウニ株式會社ニ於キマシテハ株主ガ
多イノデアリマスルカラ取締役ノ一人若ク
ハ取締役ノ決議ニ一任スルト云フコトガ多
クナルグラウト豫想シテ居ルノデアリマス、
以上一應申上げマシタ

○仲井間委員 重要物資ト云フ文字ハヨク
案ノ中カラ重要ナモノガ抜キ出サレテ規定
ヲシテ居ル次第ゴザイマス

○池田(克)政府委員 第六條ノ方ハ左様デ

ゴザイマス

○仲井間委員 重要物資ト云フ文字ハヨク
使ハレテ居リマスガ、此ノ際尙ホ一應抽

的デアリマスカラ、重要物資ト云フ意味ヲ御聽キシタインデアリマス

○池田(克)政府委員 第六條ニアリマスル重要物資ト申シマスルノハ、生活必需品ノミナラズ、軍需物資ナドヲ含メマシタ包括

ニ付キマシテハ只今モ御指摘ニナリマシタノ一つノ觀念デゴザイマシテ、此ノ言葉

ノ既成ノ概念ニナツテ居リマス、例ヘテ申シマスト國防保安法ノ慥カ第十條デアツタ

居リマス、詰リ法律カラ見マスレバ、一つ

ト思ヒマスガ、此ノ言葉ガ用ヒラレテ居リ

マス、又刑法ノ第百五條ノ四ニ於キマシテ

モ、重要物資云々ノ言葉ガ使ハレテ居リマス、法律ノ解釋上疑問ノ虞ナキモノト考ヘ

マシテ、此ノ文字ヲ用ヒマシタ次第デゴザイマス

○仲井間委員 軍需資材ニ付キマシテハ割合明確ニ知ルコトガ出来ルト思ヒマスガ、

生活必需物資ニ付テ重要物資ニ入ルベキモノハ、色々煎ジ詰メテ來ルト、衣食住ニ關係ノアルモノハ相當皆アルノデアリマシテ、

中々明瞭ニ判定シニクイ所ガアリマスガ、

凡ソ今切符制竝ニ配給制ニナツテ居ルモノハ皆重要物資ノ中ニ含マレノルデアリマセウカ

○池田(克)政府委員 概ネ重要物資ノ中ニ含マレルト云フ者ハデアリマス

○仲井間委員 只今池田司法省政府委員カ

ラ御答辯ガアリマシテ、配給制度ニナツテ居ルモノハ重要物資ノ中ニ含マレルト言ハ

レマシタガ、配給ノ方法ニモ色々アリマシテ、切符制デ配給スルモノモアルシ、或ハ隣組カラ通告ヲ受ケテ配給サレ、テ居ルモノモアリマス、或ハ參ノ類トカ靴ノ類トカ云

ツタヤウナ切符制デナイモノマデモ、隣組ノ通告ニ依ツテ配給ガ施行サレテ居ルモノ

モアリマス、其ノ限界ハ總テ配給制度ト見

テ差支ナイカドウカ、其ノ區別ニ付テモウ

少シハツキリ司法當局ノ考ヘテ居ラレル條文ノ適用ノ對象トナルベキ點ニ付テ御考ヘ

ヲ明確ニシテ戴キタイト思ヒマス

○池田(克)政府委員 切符制ニ依リマスルモノハ勿論ノコトデゴザイマスル

其ノ他御指摘ニナリマシタヤウナ物資ニ付キマシテモ、其ノ當該ノ物資ガ第六條ニ所謂重要物資ニ該當スルヤ否ヤハ、結局此ノ

戰時下ニ於テ國民ノ最低生活ヲ確保スルニ必要ナル物資ナリヤ否ヤト云フ見地ニ立チ

マシテ觀念セラルベキモノト考ヘルノデア

リマス、隨ヒマシテ本來法律的ニ申シマス

ラウト思ヒマス、併シナガラ是ハ法律常識的ニ見マシテ、當該物資ガ果シテ重要物資ナリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ戰時

下ニ於キマスル國民ノ最低生活ノ確保ニ必

要ナリヤ否ヤト云フ立場ニ立ツテ考フベキモノト思ツテ居リマス

○仲井間委員 裁判所ノ認定ニ依ル方法、社會通念ニ依ル方法等ニ付テ、裁判所ガ從

來ノ他ノ法律關係ニ付テモ認定ノ例ガアリ

マス、ソコデヤハリ斯ウ云フコトモ戰時ニ於ケル所ノ國民最小限度ノ生活ノ基準トナルベキ社會的通念ニ依ツテ認定スベキモノ

デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ置イテ宜カラ

ウト存ジマスガ、如何デアリマスカ

○池田(克)政府委員 全ク御説ノ通リデア

リマス

○仲井間委員 第六條ノ中ニ「漏泄シ又ハ

竊用」トアリマスガ、是ハ他ノ特別法ノ條

文ニナツテ居リマスガ、此ノ竊用ト云フコトヲモウ一遍承リタイト思ヒマス

モアリマス、其ノ限界ハ總テ配給制度ト見

テ差支ナイカドウカ、其ノ區別ニ付テモウ

少シハツキリ司法當局ノ考ヘテ居ラレル條文ノ適用ノ對象トナルベキ點ニ付テ御考ヘ

ヲ明確ニシテ戴キタイト思ヒマス

○池田(克)政府委員 竊用ト申シマスノハ、

其ノ他御指摘ニナリマシタヤウナ物資ニ付

キマシテモ、其ノ當該ノ物資ガ第六條ニ所

謂重要物資ニ該當スルヤ否ヤハ、結局此ノ

戰時下ニ於テ國民ノ最低生活ヲ確保スルニ

官廳ノ官吏ガ知リマシテ、サウシテ自ラ其ノ事前ニ於テ高クナル所ノ衣料品ノ買溜ヲ

スルト云フ風ナ行爲ガ、本法ニ言フ竊用ノ

一つノ場合ニ當ルノデヤナカラウカト考ヘ

マス、更ニ又過去ニ於テ是モ具體的ニ事例

ガアツタノデアリマスルケレドモ、或ル物資ノ公定價格ヲ設定スル、或ハ又既ニ設定サ

レテ居リマスル所ノ公定價格ニ變更ヲ加ヘ

ル、サウ云フ風ナコトノ爲ニ價格形成委員會ナドニ調査、審議スル譯デアリマスガ、

其ノ價格形成委員會ノ委員ノ地位ニアル者ガ、事前ニソレヲ材料トシテ投機取引ヲス

ル、「スペキレー・ション」ヲスル、詰リ買ヒニ出ル、或ハ賣リニ出スト云フコトデ、財產の利益ヲ得ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、兎ニ角左様ナ祕密事項ヲ職務上知リ

マシテ、ソレヲ用ヒテ投機取引ヲスルト云フ風ナコトガ、第六條ニアルノデハナイカト「竊用」ヲ行爲ノマス

○仲井間委員 詰リ斯ウ云ツタ公務員、正

シク公正ニ配給スペキ機關ノ者ガ横流シヲシタリ、適正ニ配給シナイデ情實賣リヲヤ

○池田(克)政府委員 分リマシタ、第七條ノ「人」居リマスガ、役職員、使用人以外ノ人ト云

ト云フノハ他ノ特別法ニモ能ク用ヒラレテ

居リマスガ、役職員、使用人以外ノ人ト云

フノハドウ云フモノヲ指シテ居リマスカ

ゴザイマスカラ、今御尋ネコトハ入ラナ

イノデゴザイマス

○仲井間委員 分リマシタ、第七條ノ「人」

ト云フノハ他ノ特別法ニモ能ク用ヒラレテ

ゴザイマシタカ、絹製品ニ關シテ切符ノ點

數制ガ引上ゲラレタコトガアリマス、アノ

衣料ノ切符制ノ改正ノ議ガアリマシテ、其

ノ改正ノ議ノアルコトヲ例ヘバ職務上當該

官廳ノ官吏ガ知リマシテ、サウシテ自ラ其

ノ事前ニ於テ高クナル所ノ衣料品ノ買溜ヲ

スルト云フ風ナ行爲ガ、本法ニ言フ竊用ノ

一つノ場合ニ當ルノデヤナカラウカト考ヘ

マス、更ニ又過去ニ於テ是モ具體的ニ事例

ガアツタノデアリマスルケレドモ、或ル物資ノ公定價格ヲ設定スル、或ハ又既ニ設定サ

レテ居リマスル所ノ公定價格ニ變更ヲ加ヘ

ル、サウ云フ風ナコトノ爲ニ價格形成委員會ナドニ調査、審議スル譯デアリマスガ、

○大森政府委員 此ノ第六條ハ統制經

濟ニ關シマスル官廳或ハ經濟團體ノ祕密

ゴザイマスカラ、今御尋ネコトハ入ラナ

ノ罪デアリマスルガ、是ハ刑法ニ比ベテ稍アリマスルガ、本案ニ於テハソレヲモ引括メテ三年以下ノ懲役ニナツテ居リマスルシ、又「因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキ」是ハ刑法デハ一年以上ノ有期懲役ニナツテ居リマスルガ、本案デハ七年以下デアリマシテ、幾ラカ輕イノデアリマス、又第三條ハ是レ亦御指摘ノ通リ事前瀆職、事後瀆職共ニ刑法デハ三年以下ノ懲役デアリマスルノヲ、本案デハ二年以下ノ懲役ニ致シマシタ、其ノ趣旨ハ第一條ニ掲ゲテ居リマスル團體ハ、是ハ餘程公務的色彩ガ強イノデアリマシテ、第二條ノ團體ハ之ニ比ベマスルト、公務的色彩ガ幾ラカ薄イノデアリマス、デアリマスルカラ第一條ガ刑法其ノ儘デアルノニ比シマシテ、第二條、第三條ニ付キマシテハ收賄ニ付テ幾ラカヅ、其ノ刑罰ヲ低クシタノデアリマス、然ルニ第五條ニナリマスルト御承知ノヤウニ贈賄デアリマスルガ、是ハ刑法並ニナツテ居リマス、即チ只今ノ御言葉ノヤウニ第二條、第三條モ稍、刑法ニ比ベテ低キニ反シ、第五條ノミ刑法通リニナツテ居ルノハ、確カニ表面上權衡ヲ失スルヤニ考ヘラレルノデアリマス、商法第四百九十三條第二項ニ於キマシテ、贈賄ノ罰ヲ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニシテ居ルノデアリマス、刑法ハ御承知ノヤウニ是ト同様ニ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金デアリマ

ス、デアリマスカラ徵役ニ付テ會社法ノ罰則ニ於キマシテ既ニ三年ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、商法既ニ定メル所ノモノヨリモ之ヲ輕クスルト云フノハ確カニ不合理デアリマス、然ラバ商法通リ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニスレバ宜イカト申シマスト、是ハ他ノ刑罰トノ權衡モアリマシテ、懲役ヲ三年ニシテ罰金ヲ三千圓ニスルト云フノモ多少工合惡イ感ジモ致シマス、デアリマスルカラ收賄ニ付テハ刑法ヨリ稍々輕クシマシタケレドモ、贈賄ニ付テハ右所述ベタ商法トノ關係ヲ考ヘマシテ、刑法通リニ致シタヤウナ次第、デアリマス、右ノ事情ハ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス○**仲井間委員** 本法ノ規定ガ此ノ度議會ニ提出セラレマシタコトハ多年國民ノ要望モアリマシテ、私共モ洵ニ其鳴致シテ居ル次第、デアリマスルガ、苟クモ物資ノ生產、配給、消費殊ニ今日國民ノ最低限度ノ生活ヲ確保セシムルコトガ、此ノ戰爭遂行ノ爲ニ、國民ノ總力ヲ結集スル上ニ缺クベカラザル要請デアルノデアリマシテ、其ノ爲ニハドルウシテモ配給ノ適正ト云フモノガ必要デアルノデアリマス、此ノ配給ノ適正ヲ期スル爲ニ、色々今後政府ニ要望サレテ居ル點ハ各委員會ニ於テ、或ハ凡ユル機會ニ政府ニ要望サレテ居ルノデアリマスガ、先ヅ現行ノ制度ニ於キマシテモ、此ノ配給ノ衡ニ當ル公ノ機關ガ、眞ニ公正ナル職務ノ執行ニアルノデアリマシテ、此ノ統制ニ關係スル、或ハ又物資ノ配給等ニ關係ノアル業務務ニ携ハル者ノ不正行爲ニ對スル罰則ヲ規定色々巷間聞ク所ニ依ルト、遺憾ナル點ガ多々シナカツタコトハ、實ニ跛行的ナ感ジガ致

申述ベルコトヲ差控ヘマスルケレドモ、此ノ配給機構ノ衝ニ當ル機關ガ不正ニ配給ヲスル、或ハ横流シヲスル、或ハ情資ヲスルト云ツタヤウナ方面ヲ、相當ニ取締ル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスルガ、將來其ノ點ニ付テ法規ヲ設定スル御意向ガアラレマスカ、司法當局ノ御考へハドンナモノデアルカ、伺ヒタイト思ヒマス○大森政府委員　御質問ノ御趣旨ハ不正ノ配給ニ付テ何ガ故ニ刑罰法規ヲ制定シナカツタカ、又將來制定スル見込アリヤト云フ點ニ存スルヤニ拜承致シタノデアリマス、御承知ノヤウニ此ノ案ニ於キマシテハ不正配給ノ問題ニ觸レテ居ナイノデアリマス、併シ只今モ御話ニナリマシタヤウニ、坊間動モスレバ不正配給ノ事實ガアルト云フコトハ、私共耳ニハ致シテ居ルノデアリマス、サウシテ御承知ノヤウニ司法省内ニ設ケラレマシタ經濟關係罰則調査委員會ニ於キマシテ、相當嚴重ナル制限ノ下デハアリマスルケレドモ、不正配給ニ付テ取締規定ヲ設クベシトノ答申ヲ得タコトモアリマス、左様ナ關係デ事務ノ者ト致シマシテハ、調査ニ著手致シタコトハ確カニアルノデアリマス、併シナガラ一面考ヘテ見マスト種々ノ糾餘曲折ハ經マシタケレドモ、今日ノ經濟統制ハ先づ軌道ニ乗リマシテ、是カラ其ノ緒ニ就イテ行クヤウニ存ズルノデアリマス、丁度是カラ折角旨イ工合ニ乗出シテ來ルト云フ矢先ニ於テ、左様ナ刑罰法規ヲ俄カニ出スコトハ、是ハ確カニ考慮ノ餘地ガアリ定ヲ致シマスト、是ハ規定ノ如何ニハ依リマスケレドモ、相當廣範圍ニ瓦ル虞ガアル

ノデアリマス、左様ナ廣範圍ニ瓦ル虞ノアルヤウナ取締規定ヲ今俄カニ提案致シマスルト、民間ニ如何ナル影響ヲ及ボスデアラウカ、是レ亦考慮ヲ要スルヤニ存ジタノデアリマス、デアリマスカラ是ハ大イニ指導ヲシテ、然ル後ニ必要ガアレバ徐ロニ考ヘルト云フ方途ニ出ヅル方ガ宜クハナイカト考ヘタノデアリマシテ、左様ナ考ヘカラ今回ハ提案ヲシナカツタノデアリマス、然ラバ將來之ヲ提案スルカ否ヤ、是ハ今日明答スル程度ニハ至ツテ居リマセス、提案スルトモ提案シナイトモ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、併シ兎ニ角目下重要ノ問題ニアリマスルカラ、私共ニ於テ十分ニ調査研究ハ續ケテ參りタイト存ジマス、今日ハ此ノ程度ニ於テ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

度ヲ確保スル爲ニハ、他ノ省トモ連絡ヲ執ツテ、司法省カラデモ是非強調シテ、此ノ公益ノ維持ヲ十分ニ確保シテ戴クヤウニ御願ヒスル次第アリマス。

ソレカラ最後ニ本法ノ公益ヲ維持スル點ニ付キマシテ御方策ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマスルガ、第一祕密ノ漏洩トカ云フヤウナコトハ、大體相當ノ地位ニアル人ガ犯サレテ居ルヤウナコトガ多イヤウニ見受ケラレルノデアリマス、是ハ結局從來ノ國民ガ皇國民トシテノ自覺ノ足リナイ點ガ多イノデハナイカ、眞ニ國民トシテノ責任感ヲ十分ニ把持シテ居レバ、斯ウ云フ罪ハ段々減少サレテ行クコトニナル、有識者ニ多イト云フコトハ實ニ遺憾ナ點ゴザイマスルノデ、凡ユル施策ニ付テ今日皇國ノ國民トシテノ自覺ノ要請ニ副フ方策ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、尙ホ法律ニ付テモ、民法デアルトカ、刑法デアルトカ、商法ニ於テモウ少シク皇國民トシテノ自覺ヲ促スヤウチ、又ソレニ副フ法規ノ大改正ガ將來行ハレナケレバナラスト思ヒマス、今ノ法律ハ殆ド米英ノ秩序ノ時代ニ出來タ法律デアリマスカラ、制裁法規或ハ取引法規ヲ、唯國民ノ契約的ナ取引自由ノ原則ノ下ニ規定サレタル思想、從來ノ個人乃至社會ガ國家ト對立シテ居ルト云フヤウナ思想カラ生レタ制度ヨリ、眞ニ國家ニ歸一スルト云フ國民的、日本ノ皇國的ナ基礎ニ立ツ法律ノ編成ヲ思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ唯取締ノミニ依ツテ其ノ公益ヲ維持シテ行クトテ指導シテ行ク時代ガ來ナケレバナラスト思フヨリ、一步進ンデ指導ニ依ル國民的自覺ヲ促スコトニ依ツテ公益ヲ維持シテ行ク

ト云フコトガ、根本的ノ問題デハアルマイカ、殊ニ本法案ガ戰時臨時ノ立法デハナクシテ——此ノ基本法ガ戰時ノ臨時立法モアリマスガ、恒久的ノ法律モアリマスノデ、相當ニ長ク本法ガ適用サレナケレバナリマセヌカラ、是非皇國民トシテノ自覺ヲ促ス法制的ノ方面ニ於テ指導サレルヤウナコトガ望マシイコトデアリ、是ガ又此ノ前ノ委員會ニモ要請サレタコトデアリマスガ、司法省デハ其ノ件ニ付テモ相當ニ考慮ヲシテ居ルト云フ御答辯ヲ伺ヒマシタカラ、其ノ點ニ付テ如何ナル御考ヘヲ今日御持チニナツテ居ラレルカ伺ヒタイト思ヒマス。

○岩村國務大臣 御答ヘヲ申上ゲマス、祕密ノ漏泄等ニ付テ、或ル階級ノ者ノ漏泄ガ多イヤウダト云フ御話デアリマス、是ハ私處デハツキリ御答ヘ出來マセヌガ、併シ高度ノ祕密ヲ知ツテ居ル者ガ其ノ祕密ヲ泄スルスト云フコトハ、非常ニ憂フベキ事柄デアルコトハ申スマデモナイ、只今取締リ、罰スルト云フバカリデナク、指導シナケレバナラスト思フト云フ御話モゴザイマシタガ、是モ私ハ全ク同感デアリマス、殊ニ戦争ノ始マツテ以來、經濟統制ノ如キ、從來國民ノ經驗ゼザル經濟現象ガ起ツテ來テ居ルノデアリマス、十分ニ指導シテ教ヘテ、然後ニ已ムヲ得ザル者ハ之ヲ罰スル、指導ト刑罰ノ關係ハ十分ニ考ヘテ刑事政策ヲ行ハナケレバナラスト云フコトハ、私モ同感デゴザイマス、ソレカラ又今日ノ我ガ國ノ法律ハ自由主義時代ノ法律デアルカラ、之ニ對シテ何カ檢討ヲ加ヘタナラバドウカト云フコトハ、是モ當然考ヘナケレバナラヌ事柄ト思ヒマス、殊ニ戰時中ハ經濟統制ノ如キ國家ノ總力ヲ結集スルト云フコトハ

最モ必要デアリマス、斯様ナ時代ニ於テハ無論ノコトデアリマス、戰後ニ於テモ戰爭シナケレバナラスト思ヒマス、司法省ニ於テ完勝ノ後ニ、如何ニ經濟現象ヲ取扱ツテ行リマスガ、設ケテアリマス、サウ云フヤウナ會ニ於テキマシテハ民刑法典ノ調查準備ノ委員會モ居リマス、大體御尋ねノ點、御意見ノ點ハ究シテ置カナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ戰爭完勝後ノ法律制度ト云フモノヲ十分研設ケテアリマス、サウ云フヤウナ會ニ於テ居ルト云フ御答辯ヲ伺ヒマシタカラ、其ノ點ニ付テ如何ナル御考ヘヲ今日御持チニナツテ居ラレルカ伺ヒタイト思ヒマス。

○谷原委員長 是デ豫メ御通告ノアツタ方ノ此ノ三案ニ對スル質疑ハ一應終了シタノデアリマスガ、何レ牽聯質問……

○濱野(徹)委員 私通告スルノヲ忘レテ居リマシタガ、機會ガアリマシタナラバ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○仲井間委員 私ノ質問ハ是デ終了致シマス

○谷原委員長 何レ牽聯質問モアルト思ヒマスカラ、質疑ハ次會ニ續行スルコトニシテ、本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○谷原委員長 次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマスガ、大體三十一日ノ午前十時カラ此ノ部屋デ開キタイト思ヒマスカラ、豫メ申上げテ置キマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後三時三十九分散會